

〒758-8555 山口県萩市大字江向 510
TEL : 0838-21-7765
e-mail : hg-geo@city.hagi.lg.jp
HP : <http://www.city.hagi.lg.jp/site/hg-geo/>

発行：萩ジオパーク構想推進協議会 事務局

萩ジオパーク構想推進協議会各部会の進捗状況について

3月22日（火）、推進協議会臨時総会が開催されました

この間の構想推進の取組の中で、各専門部のうち教育部会の進捗状況については前号（No.11）でお知らせしましたが、今回は「調査・研究部会」及び「地域振興部会」についてお知らせいたします。

3月11日（金）、午後3時30分から萩博物館において、調査・研究部会が開催されました。会議では、先進ジオパークの例を参考にジオサイト選定の考え方を確認した上で、「特定非営利活動法人日本ジオパークネットワーク正会員加盟申請書」に記載する事項のうち、ジオサイトの選定基準、サブテーマとそこに位置づける主なジオサイトについて検討を行いました。その結果、文化・歴史の側面から「ジオ」を語るサブテーマを新たに追加すること等が決定されました。

3月17日（木）、午後1時30分から萩市役所において、地域振興部会が開催され、加盟申請書に記載する事項のうち、主に「ジオツーリズムと持続的な発展に向けての戦略」について検討を行い、弥富地区を中心とした豊ヶ淵交流事業実行委員会で行われてきた「大地の遺産のすばらしさや大地のめぐみを学び、その地域で生きることの喜びを知ることによって地域を見つめ直し、市民の力で大地の遺産を活用して地域の発展を目指す」取組を広げていくこと、また、このような取組をしっかりと観光振興につなげていくこと等が確認されました。

こうした各部会での検討結果を踏まえ、3月22日（火）に、推進協議会の臨時総会を開催しました。平成28年4月に加盟申請書を提出し、日本ジオパーク認定を目指すことを決定しました。

【参考】

サブテーマと主なジオサイト

- (1) 萩の大地は約3億年以上前のはるか南の海ではじまった
- (2) 萩の大地のほとんどは、約1億年前にアジア大陸の東の端で起こった大規模な火山噴火でできた
 - ・主なジオサイト：長門峡と佐々並カルデラ
- (3) 約3000万年前にも大規模な火山噴火が起こった
- (4) 約1650万年前、日本海で最初に堆積した地層とその中に入り込んだ斑れい岩とその熱で焼かれた地層—須佐湾
 - ・主なジオサイト：須佐湾・高山
- (5) 約1200万年前、日本海で噴火した最初の火山—見島
- (6) 世界でもめずらしい火山地形が見られる活火山—阿武火山群
 - ・主なジオサイト：笠山とその周辺
 - ・主なジオサイト：龍が通った道
- (7) 火山が作った萩三角州
- (8) 文化と歴史の中の「ジオ」
 - ・主なジオサイト：「明治日本の産業革命遺産—製鉄・製鋼、造船、石炭産業—」の構成資産



(地域振興部会)



(推進協議会臨時総会)

多彩に展開するジオパーク構想の教育活動

これまでも推進協議会だよりで、教育分野の取組状況を紹介してきましたが、教育部会での話し合いを受けて、2月26日（金）、萩西中学校に出向き、1年生の理科の授業（3クラス）で萩の火山について学びました。また、田万川中学校では1・2年生が歯科印象剤を用いた火山の噴火実験を行い、3月1日（火）には隣接する多磨小学校5・6年生と一緒に田万川地域の地質について、学術顧問の先生から専門的な解説を聞きました。このように中学校の授業の中では、地元の「大地の遺産」をどのように取り扱うかということに関して、実践が広がりつつあります。

3月8日（火）午後、「萩ジオパーク構想の見どころ」である「笠山」と「龍が通った道」を校区内にもつ、越ヶ浜小学校の4年生と弥富小学校の3・4年生が、お互いの学習成果を紹介し合う交流学习がありました。弥富小学校からパワーポイントを使って、「ふるさとの誇れるもの、「龍が通った道」について、学習の様子と見どころを紹介しました。より多くの方に知ってもらうために作成したパンフレットも持参しました。一方、越ヶ浜小学校は弥富小の友達と一緒に、来年度学習を引き継いでもらう3年生をお客さんに見立てて、学習の成果を説明し、まとめたパンフレットを手渡す練習をしました。この交流学习を通じて、越ヶ浜小も弥富小も、お互いに頑張りを認め合うことができました。

3月12日（土）、越ヶ浜小学校の4年生は萩・椿まつりの会場で、訪れたお客さんにガイドをしました。多くの方が子どもたちの声かけに足を止め、ガイドを好意的に受け止めてくださいました。子どもたちがふるさとを知り、地元を愛着を抱く取組を行うことは、ジオパークの教育活動の1つと言えます。参加した子どもたちからは、「ガイドは緊張したがやり遂げることができてよかった」、「大人も知らないことを勉強できて嬉しかった」などの感想を聞くことができました。ジオパーク活動が一步進んだことを感じました。



（萩西中学校での火山の授業）



（弥富小学校によるプレゼンテーション）



（椿まつり会場でのガイド活動）

ジオパーク講演会 4/7（木）、19:00～20:30、至誠館大学明教館 講師：尾池和夫先生 「ジオパークとは何か ～ジオパークと地域づくり～」(仮題)

萩には「大地の物語」が楽しめる、貴重で美しい大地の遺産があります。4月7日、ふるさとの大地の成り立ちやそこから受ける様々な恵みと、人々の歴史や文化を学び、ふるさとへの誇りを抱き、地域振興を図るジオパーク活動について考える講演会を開催します。

講師として、ジオパーク認定審査機関である「日本ジオパーク委員会」委員長、尾池和夫氏をお招きし、「ジオパークとは何か」についてお話いただきます。あわせて、昨年9月にNHK総合テレビ『さわやか自然百景 山口・阿武火山群』の制作者による「萩ジオパーク構想プロモーションビデオ」の初上映も行います。

4月の予定

- ジオパーク講演会 4月7日（木）、19:00～20:30、場所：至誠館大学、主催：萩ジオパーク構想推進協議会・萩市
- 日本ジオパーク新規認定申請書の提出期限 4月14日（木）
- 隠岐ユネスコ世界ジオパークフェスタ 4月24日（日）、9:30～16:30、会場：くにびきメッセ（松江市）

事務局と一緒に萩ジオパーク構想をPRしていただける方（定員2名）を募集します。旅費実費は推進協議会で負担します。行程など詳細は後日お知らせします。

ジオパーク講演会

平成28年4月7日（木）
午後7時～8時30分（参加料無料）
至誠館大学 明教館1号棟（102教室）

萩の豊かな自然・文化・歴史を
日本ジオパークに！

講演 尾池和夫先生
Kazuaki Ochi

主催：至誠館大学環境推進協議会・萩市 問い合わせ：萩市企画政策課ジオパーク推進課（TEL：0838-21-7765）